

科目名	コンサートプロダクト2							年度	2026
英語科目名	Concert Product 2							学期	後期
学科・学年	コンサート・イベント科 コンサート舞台コース 1年次	必/選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	田城佳子/岩崎千世		教員の実務経験		有	実務経験の職種		舞台ホール管理	

【科目の目的】

コンサートやイベントにおける舞台の役割や実際の作業などの基礎について理解できるようにします。

【科目の概要】

<コンサート舞台コース>
舞台装置の機能やドラム台の組立など、基礎技術を習得します。

【到達目標】

●舞台の名称、用語を理解できる。●各セクションの流れを理解し、タイムテーブルの作成、図面作成、進行表の作成ができる。●舞台を安全に進行する。●ドラムセットのセッティングができる。●楽器の基礎知識を習得し、各種アンプの種類、名称が理解できる。●イントレの名称、組み方を理解し安全に組めるようになる。●箱馬、平台を使って山台の作製ができる。

【授業の注意点】

学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	イントレを使ったステージを、図面作成～設営まで安全管理を含め実施できる。		イントレを使ったステージを、指示に従いながら組み上げられる。		イントレについて部材や組み上げかたを理解していない。
到達目標 B	ライブで必要となる各種図面を、適切に作成することができる。		仕込図に従って、楽器や美術道具を適切に配置することができる。		仕込図を読み取ることができない。
到達目標 C	タイムテーブルに従い、各セクションと調整しながらライブ本番を実施できる。		各セクションとミーティングをしながら、タイムテーブルを作成できる。		タイムテーブルなどの内容を理解していない。
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

*課題や、イベント後のレポートを評価する。
*本番実習での協調性、積極性、理解度にて評価する。
*積極的な授業参加、協調性、授業態度によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		コンサートプロダクト2			年度	2026
英語表記		Concert Product 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	文化祭 ステージ設営	基礎ステージ設営	1 基礎ステージ設営	図面通りに基礎ステージを組み、水平出し	2	
			2 A2イントレ組み	A2イントレ組み、水平出し		
			3 パイプにて足場固定	クランプ・ラチェット・番線の使い方		
2	文化祭 ステージ設営	足場組	1 A2イントレ2段・3段	A2イントレ2段目・3段目組み	2	
			2 単管パイプにて連結	クランプ・ラチェット・番線の使い方		
			3 天井枠・リノリウム	天井枠・床面リノの設営		
3	文化祭 本番1	野外ステージ 本番進行 (2年生の手伝い)	1 楽器セッティング	楽器セッティング、音出し、本番までの流れ理解	2	
			2 本番進行	他部署と連携を取り、無事に本番を進行する		
			3 撤収作業	他部署と話し合い、安全に撤収作業を終える		
4	文化祭 本番2	ホール 本番進行(手伝い)	1 楽器セッティング	楽器セッティング、音出し、本番までの流れ理解	2	
			2 本番進行	他部署と連携を取り、無事に本番を進行する		
			3 撤収作業	他部署と話し合い、安全に撤収作業を終える		
5	12月Live本番 に向けて①	担当部署ごとに (進行・楽器・道具) 必要な資料作成	1 資料作成	タイムテーブル・立ち位置図面・進行表 作成	2	
				セッティング図を基に、プロット図 作成		
				道具プランを考え図面に起こす		
6	12月Live本番 に向けて②	プロダクション MTG	1 プロダクションMTG 道具仮組	プロダクションミーティングにて質問し、 資料の修正ができる。 道具を仮組し手順を検証、次回の仮組に活かす。	2	
7	12月Live本番 に向けて③	全体仕込み 練習	1 全体 シュミレーション (仕込み・楽器セッ ティング)	全コース、タイムテーブル通りに仕込みを行う 楽器セッティングの流れも確認し、検証・修正を行う。他 コースと話し合い、流れが理解できる。	2	
8	12月Live 本番A	本番A	1 仕込・RH・本番 撤収作業	全コース、タイムテーブルに沿って実施する。 仕込み・RH・本番・撤収作業を安全に行うことができる	2	
9	12月Live 本番B	本番B	1 仕込・RH・本番 撤収作業	全コース、タイムテーブルに沿って実施する。 仕込み・RH・本番・撤収作業を安全に行うことができる	2	
10	修了Live に向けて①	本番に向けて	1 資料作成	タイムテーブル・図面・進行表 セッティング図を基に、プロット図を作成できる (VectorWorksを使って作成) 道具プランを考え図面に起こすことができる	2	
11	修了Live に向けて②	本番に向けて	1 プロダクションMTG 道具仮組	プロダクションミーティングにて 質問し、資料の修正ができる 道具を仮組し手順を検証、次回の仮組に活かす	2	
12	修了Live に向けて③	本番に向けて	1 チーフMTG	全コースのチーフが集まり、仕込み手順 転換手順・RHの流れを確認し決める。 他コースとコミュニケーションを取り 本番がスムーズに進むよう段取りを組む。	2	
13	修了Live に向けて④	本番に向けて	1 全体 シュミレーション (仕込み・楽器転換)	全コース、タイムテーブル通りに仕込みを行う 楽器転換の流れも確認し、検証・修正を行う 他コースの流れが理解できる	2	
14	修了Live 本番A	本番A	1 仕込・RH・本番 撤収作業	全コース、タイムテーブルに沿って実施する。 仕込み・RH・楽器転換・本番・撤収作業を 安全に行うことができる。出演者ともコミュニケーションを 取り、スムーズに進行をする。	2	
15	修了Live 本番B	本番B	1 仕込・RH・本番 撤収作業	全コース、タイムテーブルに沿って実施する。 仕込み・RH・楽器転換・本番・撤収作業を 安全に行うことができる。出演者ともコミュニケーションを 取り、スムーズに進行をする。	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等